



SVM DR

デスティネーションからのデータの提供 ONTAP 9

NetApp
April 24, 2024

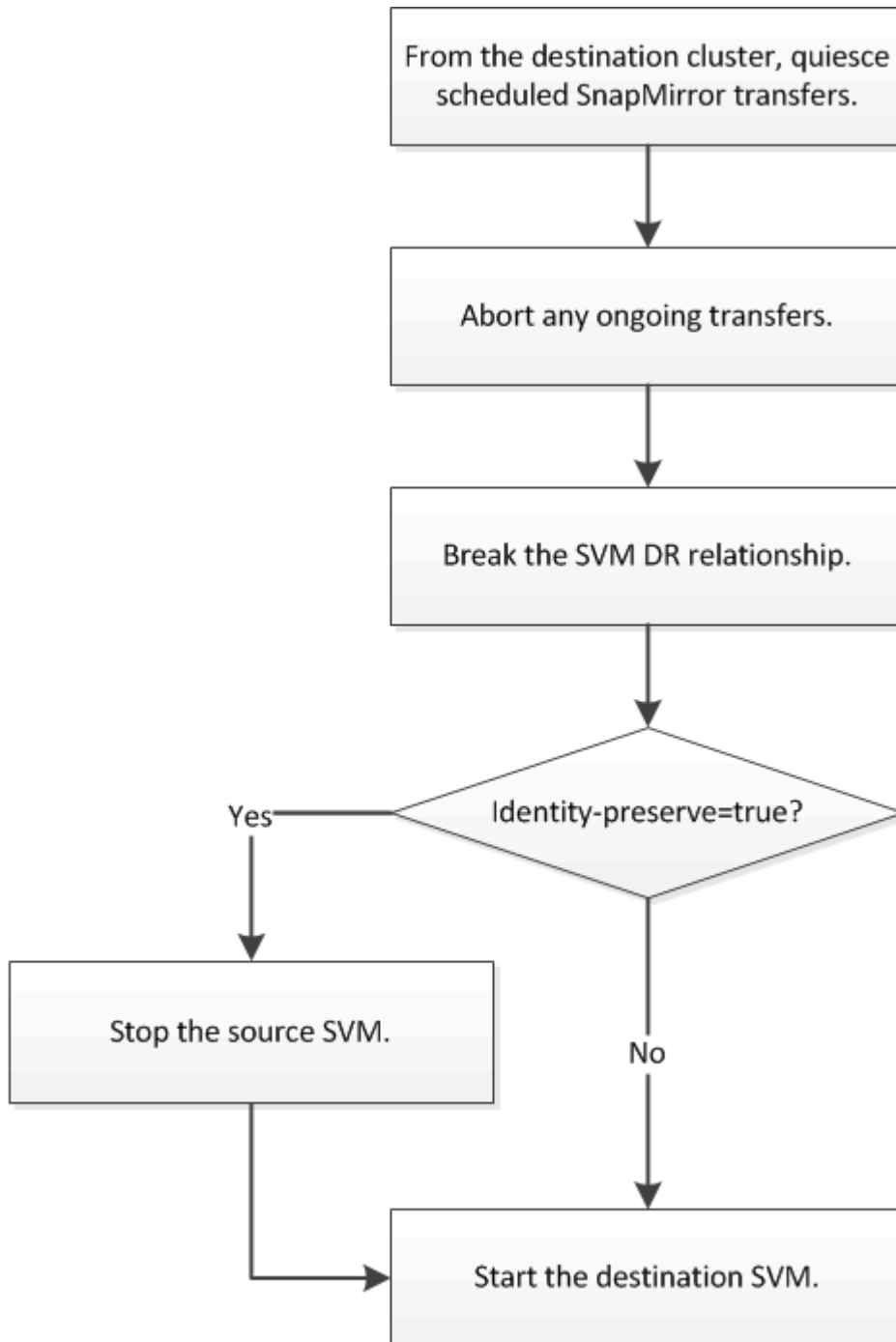
目次

SVM DR デスティネーションからのデータの提供	1
SVM ディザスタリカバリのワークフロー	1
SVM デスティネーションボリュームを書き込み可能にします	2

SVM DR デスティネーションからのデータの提供

SVM ディザスタリカバリのワークフロー

災害からリカバリしてデスティネーション SVM からデータを提供するには、デスティネーション SVM をアクティブ化する必要があります。デスティネーション SVM のアクティブ化では、スケジュールされた SnapMirror 転送の停止、実行中の SnapMirror 転送の中止、レプリケーション関係の解除、ソース SVM の停止、デスティネーション SVM の起動が実行されます。



SVM デスティネーションボリュームを書き込み可能にします

クライアントにデータを提供する前に、SVM デスティネーションボリュームを書き込み可能にする必要があります。手順は、1つの例外を除いて、ボリュームレプリケーション用の手順とほとんど同じです。設定した場合 `-identity-preserve true` SVMレプリケーション関係を作成したら、デスティネーションSVMをアクティブ化する前にソースSVMを停止する必要があります。

このタスクについて

コマンド構文全体については、マニュアルページを参照してください。



ディザスタリカバリのシナリオでは、ソース SVM とそのデータにアクセスできなくなり、前回の再同期後の更新が無効または破損している可能性があるため、ソース SVM からディザスタリカバリのデスティネーション SVM への SnapMirror 更新を実行できません。

手順

1. デスティネーション SVM またはデスティネーションクラスタから、デスティネーションへのスケジュールされた転送を停止します。

```
snapmirror quiesce -source-path SVM: -destination-path SVM:
```



で、SVM名のあとにコロン（:）を入力する必要があります `-source-path` および `-destination-path` オプション（Options）以下の例を参照してください。

次の例は、ソースSVM間のスケジュールされた転送を停止します `svm1` およびデスティネーションSVM `svm_backup` :

```
cluster_dst:> snapmirror quiesce -source-path svm1: -destination-path  
svm_backup:
```

2. デスティネーション SVM またはデスティネーションクラスタから、デスティネーションへの実行中の転送を停止します。

```
snapmirror abort -source-path SVM: -destination-path SVM:
```



で、SVM名のあとにコロン（:）を入力する必要があります `-source-path` および `-destination-path` オプション（Options）以下の例を参照してください。

次の例は、ソースSVM間の実行中の転送を停止します `svm1` およびデスティネーションSVM `svm_backup` :

```
cluster_dst:> snapmirror abort -source-path svm1: -destination-path  
svm_backup:
```

3. デスティネーション SVM またはデスティネーションクラスタから、レプリケーション関係を解除しま

す。

```
snapmirror break -source-path SVM: -destination-path SVM:
```



で、SVM名のあとにコロン（:）を入力する必要があります -source-path および -destination-path オプション（Options）以下の例を参照してください。

次の例は、ソースSVM間の関係を解除します svm1 およびデスティネーションSVM svm_backup :

```
cluster_dst::> snapmirror break -source-path svm1: -destination-path  
svm_backup:
```

4. 設定した場合 -identity-preserve true SVMレプリケーション関係を作成したら、ソースSVMを停止します。

```
vserver stop -vserver SVM
```

次の例は、ソースSVMを停止します svm1 :

```
cluster_src::> vserver stop svm1
```

5. デスティネーション SVM を起動します。

```
vserver start -vserver SVM
```

次の例は、デスティネーションSVMを起動します svm_backup :

```
cluster_dst::> vserver start svm_backup
```

完了後

の説明に従って、データアクセス用の SVM デスティネーションボリュームを設定します ["データアクセス用のデスティネーションボリュームを設定"](#)。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。